



木津川市立州見台小学校

令和5年3月1日発行 第13号

めざす児童像

かしこく……めあてをもち、すすんで学ぶ子ども
やさしく……優しく思いやりがあり、感謝できる子ども
すこやかに……元気で、くじけず、やり抜く子ども

URL <http://www.kizu.ed.jp/kunimidai-es/>

自分の行動で誰かが幸せに

今月の20日、いよいよ127名の6年生が旅立ちます。児童達は、最後の3年間は、コロナ禍で様々な影響を受けましたが、その中でも、日々生懸命の生活をしてきました。世間的には、コロナのために通常の生活が制限され、“気の毒、かわいそう”といった見方もありますが、子どもたちはそのような状況の中でも、へこたれず、子どもらしく、しなやかに、強(したた)かに精一杯の生活を送ってきたのだと思います。そのおかげで、今後の人生の困難な局面においても、何とかそれを打破し、前に進み続ける強い精神を育ててきたことと信じています。

2月1日の全校朝礼で、2つの話をしました。毎朝登校を見てくださっている見守り隊の一人が、「先週末に、州見台の小学生がこんにちは!と大きな声であいさつをしてくれたんです!」ととても嬉しそうにお話をされていましたよという話。もう一つは、州見台小出身の高校生が、フィリピンの恵まれない子ども達に靴を送ろうという運動をしています。もうはかない靴があれば、学校に持ってきてその運動に協力しましょうという話。共通するのは、自分が発したほんの一言で、誰かがとても嬉しく良い気分になったり、古い靴を持ってくるという行動で、それらがどこかで誰かを喜ばせたり幸せにしたりするかもしれないということ。直接は、自分たちに返ってこないかもしれないけれど、これからも自分の発した言葉や、とった行動が、どこかで誰かを幸せにするかもしれないことを思って頑張っていきましょう…というような内容でした。実際、靴回収最終日の2月3日(金)の授業参観の日には、たくさんの保護者の方にもご協力いただきまして、最終249足が集まりました。思った以上の数でした。新しめの靴もたくさんあり、これで海外の子どもたちの命の危険が少し減ったり、そのサッカーシューズを履いて、サッカー選手になる子どもがいたり…と考えると、わくわくします。そのわくわく感は、小学生の段階では伝わりにくいかもしれませんが、冬場に木々に与える寒肥(お礼肥)のように、じわじわとこれからの子ども達の成長に効いてくれたらなあと思っています。



「先行き不透明、不確実な世の中、生きにくい時代」と悲観的な言葉が並ぶこともあります。子どもたちにはそんなことをものともせず、たくさん夢を持って、それに向かって良い人生を歩んでほしいです。

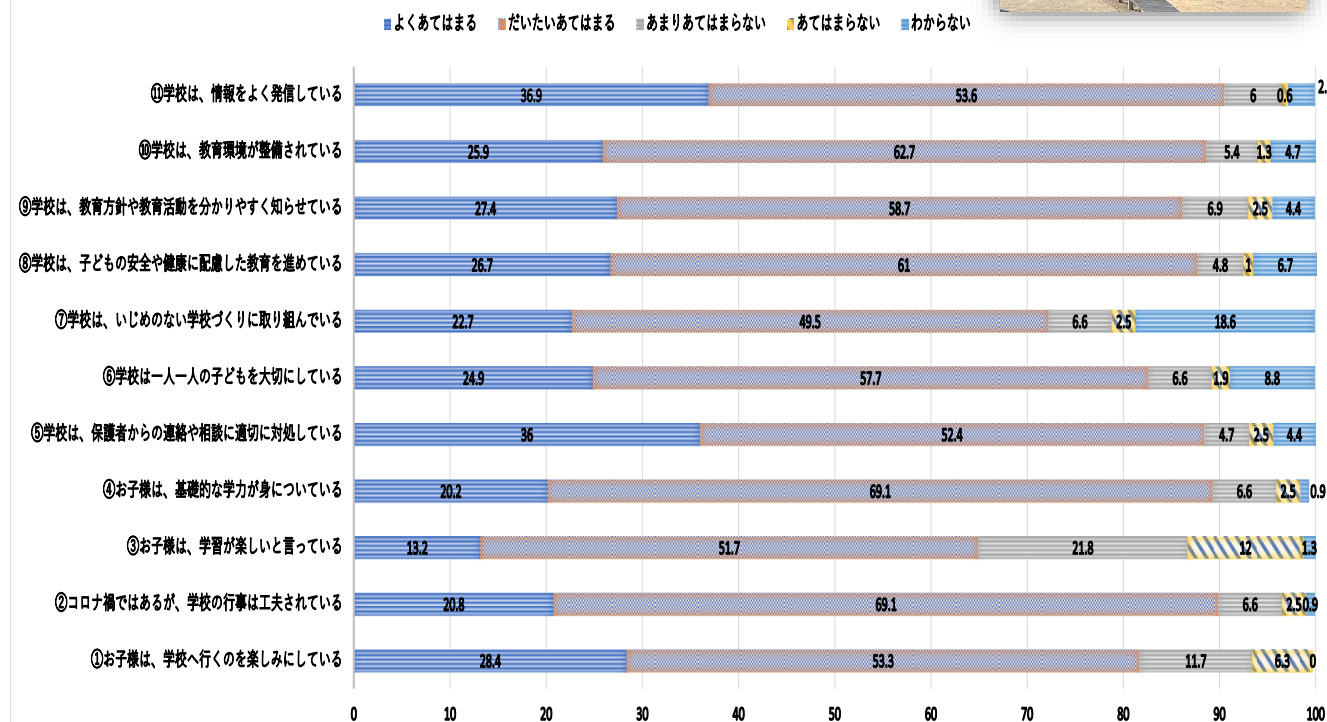
6年生の皆さんは、小学校6年間のまとめを、1年生から5年生の皆さんは、この1年間のまとめをしっかりと、4月からの新しいステージに備えましょう。

学校評価アンケート結果

※アンケート結果については、学校ホームページにも掲載しています。



令和4年度 学校評価 保護者アンケート



引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている学校生活ですが、少しずつ、手探りでコロナ禍前の教育活動に戻していく年度でした。授業の内容や学校行事、生活様式等を吟味して、可能な限り感染リスクを抑えた上で、なおかつ子どもたちの思い出に残る学校生活とするため、教職員一同、一生懸命に取り組んで参りました。感染状況に一喜一憂しながらではありますが、なんとか1年を終えられるのも、保護者並びに地域の皆様のご協力・ご支援のおかげです。ありがとうございます。

アンケート結果で気になる点は、1番の「お子様は、学校へ行くのを楽しみにしている」について「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」の合計が3.2ポイントのマイナス、3番の「お子様は、学習が楽しいと言っている」が4.7ポイント減っています。楽しく学校に通えることと、その学校で学びを深めることは、学校としての存在意義の根幹に関わることでありますので、来年度以降、さらに工夫を重ねていこうと思います。

その他、「学校の行事は工夫されている」「基礎的な学力が身についている」「教育方針や教育活動を分かりやすく知らせている」等の項目では、肯定的な回答が昨年度よりも増加し、一定の評価をいただいているものと思われます。ただし、「わからない」の回答が昨年度より増加した項目もありますので、引き続き、学校での様子をお伝えし、願いすべきところはお家庭にもお願いし、いろいろな面で学校とご家庭が協力し合って、『児童の健全な成長』という共通の目標に向かって歩調を合わせて進んで行ければと思います。

なお、自由記述の回答欄で頂戴しましたご意見につきましても、全職員で共有し、今後の教育活動に反映させて参ります。さらに学ぶこと、友だちと過ごすことが楽しいと思える児童が増えるよう、職員一同団結して教育活動を行って参ります。来年度も、よろしくお願いいたします。